九州建設情報社

九州のリノベ市場「今とこれから」を探る－ＬＩＸＩＬ提案会第２弾

業界のプロ１７０人が結集、福岡を中心に最新トレンドと商品提案



会場満員となる約 170 人の業界関係者が集まり、熱気を見せたセミナー会場

住宅設備大手ＬＩＸＩＬ九州支社は５日、福岡市博多区の福岡ＬＩＸＩＬショールーム４階会議室で、流通店や施工業者（コントラクター）などのプロユーザーを対象としたセミナー「今 聞きたい 九州リノベーション提案会Ｖｏ１．②」を開催した。今年７月に開催された第１弾の好評を受けて急遽追加開催されたもので、会場のキャパシティを大幅に拡大するほどの反響を呼び、当日は前回を上回る約１７０人の業界関係者が詰めかけた。

セミナーでは、福岡エリアを中心とする九州のリノベーション市場の情勢や最新のユーザーニーズを詳しく分析。冒頭、同社ＬＨＴ九州支社の曽根圭太氏が、九州・福岡における最新のリノベーション市場動向について報告。「九州では新築が減少する一方、中古マンションのリノベ需要が伸びている」と述べ、収納力や家事動線、快適なＬＤＫ空間を考慮した提案の重要性を訴えた。



最新の市場動向を報告する曽根氏
（LIXIL LHT九州支社）

続いて、同社のリビング販売戦略部の藤澤玲子氏とビルダーソリューション推進部の吉住真喜氏が登壇し、全国の先端事例や福岡独自のユーザー動向を踏まえた空間デザイン、および提案スタイルの事例を紹介。ＳＮＳ分析を踏まえ、共働き世帯の増加に伴い「家事時短」や「効率的な収納・動線」への関心が高まっている現状を伝えた。さらに、福岡県の独自調査を引き

合いに、価格を抑えつつも断熱性や清掃性、デザインの統一感を求める消費者ニーズが示され、トータルコーディネートによる付加価値向上の必要性が共有された。

このあと、インテリアや洗面・キッチン関連をはじめとする、リノベーション向け最新商品の提案が行われたほか、ショールームの案内ツアーも実施され、参加者は熱心に展示や解説に耳を傾けていた。

主催したＬＩＸＩＬ九州支社の担当者は「告知段階から想像を上回る大きな反響をいただき、前回を超える１７０人ものプロユーザー様にお申し込みいただきました。九州・福岡を中心としたリノベーション市場の『今』と『これから』に対する関心の高さを実感しており、非常に大きな手応えを得ております」と語った。

また、参加者からは「福岡のマンションリノベーション市場動向やユーザーの最新トレンドが体系的に整理されており、非常に実践的で勉強になった」、「今後のリノベーション物件の企画・バリューアップにつながるヒントが得られた」、「ショールームで最新の商品を見学し、空間としての納まりや質感が明確にイメージできた」といった声が寄せられ、高い評価を得た。

近年、既存住宅の価値見直しやマンションリノベーションの需要が高まる九州・福岡において、市場の「今」と「これから」を見据えた提案への関心の高さを象徴するイベントとなった。